

ガジュマルの聲



＜教育目標＞
『豊かな未来を拓く
児童の育成』

発行
五島市立富江小学校
校長 坂本 憲司

運動会、大成功！

5月14日（日）、爽やかな五月晴れのもと、運動会を開催することができました。練習期間が約3週間と短かったのですが、子供たちは真剣に練習に取り組んできた成果を存分に発揮しました。4～6年生は係を担当し、自分の役割をしっかりと果たしました。1～3年生も楽しそうに踊り、一生懸命競技に参加していました。

本部席からの視点で、今年の運動会を振り返ります。

1. 一生懸命頑張る姿は美しい！

1・2年生の「富っ子 八木節」、3・4年生の「ミルクムナリ」、5・6年生の「富小ソーラン2023」。本部席後方の参観者から、「みじよかね～」「上手！」「かっこいい！」といった声が聞こえてきました。私も、全く同感でした。「短期間でよく仕上げたな」と感心しました。どの子も、踊りきった後の笑顔がとても輝いていました。



徒競走、チャンス走、団体種目、リレー。それぞれの種目でも会場を沸かせるドラマが見られました。全力で頑張る姿は、人の心を動かすことを実感しました。



2. かしこく頑張る姿は美しい！

本部席から、競技の間に赤白の応援旗を振りながら声援を送る応援団の姿がよく見えました。児童テントの中の低学年も、大きな声で応援していました。高学年児童は、会場設営・撤去作業において、率先して頑張る姿を見せてくれました。自分が何をすべきか考えながら行動する態度、見ていて嬉しくなりました。



今年の運動会は、白組の勝利で幕を閉じました。準優勝の赤組も、最後まで諦めずに頑張りました。全ての児童が達成感を味わったのではないかと思います。

運動会の成功を、今後の教育活動につなげていきたいと思っています。